

# 第2回山の辺の道地域づくり協議会

日時 平成23年7月11日 PM2:00～  
場所 北部農林振興事務所

## 【内容】

- 山の辺の道周辺地域における、地元参画による賑わいのある農村づくりの実践活動
- 棚田ボランティアによる柿園の復園実施とオーナー制度の検討、先進地研修
- ウォークでの農業収穫体験による地域参画型イベント実施
- 地元農産物(柿等)の加工品(ジャム)の研究
- 早稲田大学連携事業による地域の新たな魅力の発見と発信

## 【構成員】

地元 天理市園原町、乙木町、萱生町、竹之内町、中山町、  
桜井市箬中 (農地・水・環境保全向上対策協議会中心)  
天理市果樹園芸組合、天理市4Hクラブ、天理市生活改善グループ、大和柑橘組合  
JA 天理営農経済センター、川東営農経済センター  
学識経験者 檀原考古学研究所  
行政 天理市農林課、観光課 桜井市農林課、企画課、観光課  
奈良県農林部企画管理室、地域農政課、北部農林振興事務所、中部農林振興事務所  
地域振興部ならの魅力創造課、くらし創造部自然環境課、土木部地域デザイン推進課  
農林部農村振興課(事務局)

「山の辺の道周辺における古来の農作物や草木について」  
(檀考研 菅谷所長 講話) に耳を傾ける参加者



古来の農作物や草木も時代と共に変化  
万葉からいつの時代にもよくでてくる地域

活動内容について意見交換

(菅谷 農村振興課長 司会進行)



地域参画の活動により早稲田大学とも連携してPR  
地域にあった植栽などを進め彩りのある地域づくり  
活発な地域への取り組みに積極的支援

### ■構成員からの主な意見

- ・柿園を復園したが長く続けられるかが心配。
- ・沿道への植生などを協力していきたい。
- ・ジャムを試作。早稲田大学の連携に期待。
- ・地域の果樹は品質的に全国トップクラス。高齢化などで果樹農家の後継者が問題。
- ・オーナー制の先進の状況や地域の意見を知りたい。

### ■今後の活動

- ・地域でのワークショップ
- ・地域が参画したイベントの実施  
収穫体験&ウォーク、棚田ボランティアなど
- ・早稲田大学連携事業による地域資源の新たな発掘と情報発信